

いわき農林水産ニュース

(ふくしまからはじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動ニュース)



8月号 発行 平成27年8月27日



J Aいわき市いちご部会総会 及び祝賀会が開催されました！

7月27日(月)、いわき新舞子ハイツにおいて、平成26年度JAいわき市いちご部会総会が開催されました。

総会では、平成26年度の事業や収支決算の報告、平成27年度事業計画の報告、役員改選等が行われ、平成27年度の部会長に根本盈明(みつあき)氏が選出されました。

また、(株)平果より最新の市場情勢やいわきいちごの品質の良さ及び増産等について説明があり、今後も部会として信頼される産地づくりに力を入れていくことを確認しました。

総会終了後は、平成26年度の部会長である坂本俊雄氏のいわき市農林業受賞の祝賀会が行われました。坂本氏は、震災後の部会長就任以来、行政や関係機関と連携し、風評払拭等に積極的に取り組んでこられたことが評価され、今回の受賞となりました。

来賓者からは、「坂本氏の受賞は奥様の協力と貢献あってのもの」と評され、ご夫妻揃って喜びを述べられました。坂本ご夫妻のますますのご活躍をお祈りいたします。



(賞状を受け取る坂本夫妻)



(総会の様子)
(農業振興普及部)



「菌床製造工場」建設工事 安全祈願祭が開催されました！

8月3日(月)、いわき市勿来町において、農事組合法人いわき菌床椎茸組合(以下「菌床組合」)の菌床製造工場建設工事安全祈願祭が、組合員のほか、種菌メーカー、建設事業者、金融機関、行政関係者等30名以上の出席のもと執り行われました。

今回建設される菌床製造工場は、震災・原発事故以降、安全対策や積極的な営業努力により販路拡大に取り組んできた菌床組合が、新たな需要に対応するため、経済産業省の津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金の採択を受けて整備するものです。これにより、既存の施設と合わせた菌床組合の菌床生産量は、全国でも有数の規模となります。

建設工事は年内完成の予定であり、今後は整備された施設の稼働により、新たな雇用が創出され、地域の活性化につながるものと期待されています。



(安全祈願祭の様子)



(鎌入れの儀)

(森林林業部)



キタムラサキウニの試験操業開始

7月30日（木）、いわき市の薄磯地区において、震災後初めてウニの試験操業が行われました。

水揚げされた11kgのウニは、いわき市漁業協同組合でいわきの特産である貝焼28個に加工後、仲買業者に引き渡されました。翌日、ウニの貝焼はいわき中央卸売市場に出荷され、1個当たり3,800円～5,750円で取引されました。この価格は、震災前の2倍以上の高値であり、落札した地元販売店からは、ウニの貝焼の再開を喜ぶ声が聞かれました。

今漁期は、施設整備をはじめ、様々な準備に時間が掛かり、開始時期が遅れたことから、操業は3回で終了しました。来年度は、漁期の早期開始に向けて支援していきたいと考えています。



(出来上がった貝焼)

(水産事務所)



アワビ種苗放流の実施

7月30日（木）～31日（金）にかけて、アワビの種苗放流が県内各地で行われました。

放流されたアワビは、（公財）福島県栽培漁業協会が、国立研究開発法人水産総合研究センター増養殖研究所（南伊豆分庁舎）の施設を借りて生産したもので、今年は、殻長約3cmの種苗6万3千個が放流されました。震災前に比べると概ね10分の1程度の数ですが、アワビの資源を維持するためには重要な取組です。

なお、今回放流されたアワビは、3～4年で漁獲サイズ（殻長9.5cm超）に成長します。



(アワビの放流風景)

(水産事務所)

いわき農林事務所管内建設工事安全推進協議会の開催！



8月4日（火）、いわき農林事務所管内建設工事安全推進協議会が開催されました。

この協議会は、管内の建設会社等32社といわき農林事務所構成し、労働災害の未然防止と労働者の安全衛生及び作業環境の向上を図るために設立された協議会で、今年度は約40名が出席しました。

冒頭で会長の松本いわき農林事務所長が「労働災害の発生原因は、慣れによる基本的な安全確認を怠ったことがほとんどで、労働災害の防止は、地道に安全対策を考え、実行することである」と挨拶しました。

総会では、今年度の活動内容として、工事箇所の安全パトロールと検討会、現場代理人等を対象とした安全衛生教育研修会等の実施を全会一致で可決しました。

総会終了後、「建設工事における労働災害防止の徹底について」と題して、いわき労働基準監督署吉田産業安全専門官による講話をいただき、労働災害の発生状況や発生防止強化の取組について説明を受けました。

参加者は、復興事業などで受注件数が多い中、労働災害の未然防止と労働環境改善が工事の早期完成につながることを再認識していました。



(協議会の様子)



(講話の様子)

(総務部)





**「おいしい ふくしま いただきます！」
キャンペーンの開催！**

7月25日（土）、いわき市平の（株）ヨークベニマル新谷川瀬店において、「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。

県産農林水産物の安全・安心のPRをするため、放射性物質モニタリング検査結果をまとめたポスターを掲示するとともに、来店者の方々にいわき市産エリンギ、ブルーベリー、ミニトマトを配布しました。小さな子供連れの家族が多く、「きちんと検査している福島県産が一番安全であることは知っている」、「直売所等でいわき市産農産物をよく買っている」といった声が聞かれました。



（おいしい県産農産物を食べて応援しよう！）
（企画部）



**有害鳥獣被害防止対策
現地検討会が開催されました！**

7月24日（月）、遠野地区及び三和地区において、地域の代表者の方々を対象に有害鳥獣被害防止対策現地検討会を開催しました。

検討会では、いわき農林事務所からイノシシ対策は、耕作放棄地の管理、食品残渣の放置や、野菜及び果樹の取り残しをなくす等の「環境整備」が必要であることを説明しました。

その後、電気柵の現地点検を行い、漏電の有無や電気柵の高さを確認しました。

参加者からは、捕獲したイノシシの処分に苦労していることや捕獲者への助成などの要望が多く寄せられたため、今回の検討会を機に、他の地域でも鳥獣被害を減らしていく対策を進めていきたいと考えています。



（電気柵の現地点検を行う様子）
（農業振興普及部）



**（社）福島県国際農友会いわき支部が
研修会を開催しました！**

7月28日（火）、（社）福島県国際農友会いわき支部主催による研修会が開催され、「～街なか野菜工場～ ひまわり ふれあい農園」と草野グリーンファームを視察しました。

「～街なか野菜工場～ ひまわり ふれあい農園」は、ひまわり信用金庫がLED活用の完全閉鎖型水耕栽培プラントのモデルハウスとして運営している提案型施設で、ハウレンソウやコマツナなどの葉物野菜を栽培し、来店された方へ配付しています。

また、小川町にある草野グリーンファームでは、農友会会員の草野城太郎氏が葉ネギの水耕栽培を行っており、その様子を視察しました。

参加者は、視察した施設の水耕栽培のメリットやデメリットについて、活発な意見交換を行いました。



（小林園長より説明を受ける参加者）
（農業振興普及部）



**野生きのこの
出荷・摂取制限について**

これから野生きのこが多く発生する季節を迎えます。

原発事故の影響により、県では環境放射線モニタリング検査を実施しており、平成27年8月27日現在、いわき市を含む県内55市町村において野生きのこが出荷制限を受けています。

このため、野生きのこの販売目的での採取、出荷はもとより、直売所等での販売を行わないでください。

なお、いわき市の野生きのこは、出荷制限に加え、摂取についても制限されていますので、出荷・販売はもちろんのこと、食べることも差し控えてください。

（企画部）



いわき市農産物直売所連絡協議会 総会が開催されました！

7月29日（水）、いわき新舞子ハイツにおいて、平成27年度いわき市農産物直売所連絡協議会の総会が開催されました。

この協議会は、いわき市内の農産物直売所間の連携と消費者との交流を促進することを目的に平成16年に設立されており、現在33の個人及び団体が加盟しています。

総会では、平成26年度の事業として、市内各地で開催されたイベントへの出展や先進地視察、直売所スタンプラリーの実施等が報告され、平成27年度も、昨年度同様に直売所の活性化に取り組むことを確認し、新たな役員6名が任命されました。

総会後の情報交換会では、出席者が持ち寄った一品料理を味わいながら、料理のポイントや直売及び加工の運営状況について、積極的な意見交換が行われました。



（総会の様子）
（農業振興普及部）



「新舞子ふれあいの森」 下刈り作業が実施されました！

8月1日（土）、「新舞子ふれあいの森」にある四倉町下仁井田地内のクロマツ植林地において、下刈りボランティア作業が実施されました。

今回で23回目となるこの活動は、いわき青年林業会議所が海岸林の整備のため毎年実施しているもので、磐城森林管理署やNPO法人いわきの森に親しむ会など計25名が参加しました。

今年は、例年にない暑さの中、参加者は汗をかきながら、植栽されたクロマツの稚樹の周囲に繁茂するススキなどの雑草を手鎌などで丁寧に刈っていました。

いわき青年林業会議所は、クロマツが生育し立派な海岸林が復活することを目指し、これからも活動を続けていくこととされています。

（森林林業部）



いわき地方の農林水産物 モニタリング検査結果

農林畜産物の検査結果

福島県が行った、いわき地方の7月の農林畜産物の放射性物質モニタリング検査結果（表1）をお知らせします。

（表1）農林畜産物の検査結果（7月末現在）

1点も検出されなかった品目と検体数	検体の一部が検出された品目と検体数			計
	1品目（※1）			
16品目 44検体	検出限界値以下の検体	基準値内で検出された検体	基準値超過で検出された検体	17品目 45検体
	0検体	1検体	0検体	

※六条大麦

検査した17品目45検体のうち、16品目44検体において、放射性セシウムが検査機器の検出限界値以下でした。内訳は（表2）のとおりです。

（表2）1点も放射性セシウムが検出されなかった品目と検体数

キュウリ 2、キュウリ（施設） 1、トマト（施設） 3、サヤインゲン 2、カボチャ 2、ナス 3、ピーマン 2、モモ 1、パレイショ 2、菌床しいたけ（施設） 5、菌床なめこ（施設） 2、エリンギ（施設） 1、小豆 1、小麦 3、牛肉 10、原乳 4

なお、六条大麦については、1検体に100Bq/kg以下の放射性セシウムが検出されました。内訳は（表3）のとおりです。

（表3）基準値内で検出された品目と検体数

品名	検体数	（うち基準値内）	内 訳	
			100Bq以下	検出限界値以下
六条大麦	1	(1)	1 (2.3 Bq/kg)	0

7月31日現在、いわき地方産の農林畜産物で出荷が制限されているのは、（表4）のとおりです。

（表4）出荷制限及び出荷自粛品目（7月末現在）

制限、自粛	区分	品目
出荷制限 (7品目)	野菜・根菜・芋類	—
	果物	—
	穀類	—
	山菜	たけのこ、ぜんまい、わらび、こしあぶら、たらのめ（野生のものに限る）
	きのこ	原木なめこ（露地）、野生きのこ
出荷自粛 (1品目)	畜産物	—
	山菜	さんしょう（野生のものに限る）

（企画部）

海産魚介類の検査結果

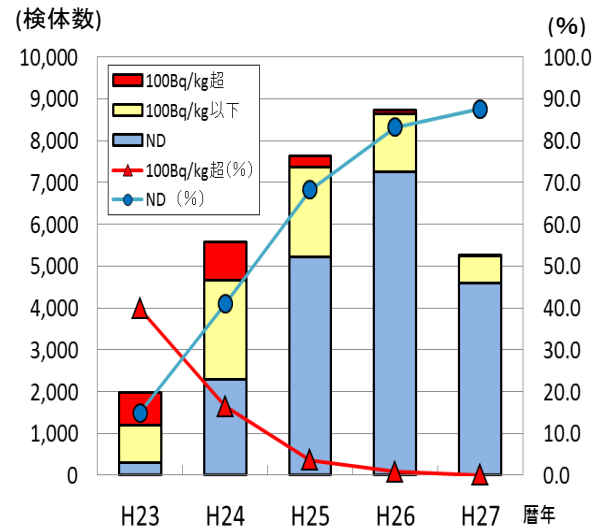
福島県沖で採取された海産魚介類への放射能の影響は、時間の経過とともに着実に低下しています。

平成27年1～7月までにセシウム食品衛生法における一般食品の基準値である100Bq/kgを超えたものは4検体で、全体の0.1%でした。

なお、3月7日以降に採取された海産魚介類で基準値の100Bq/kgを超えたものはありませんでした。

平成23年以降のモニタリング検体数と割合

年		100Bq/kg超	100Bq/kg以下	不検出	計
H23	検体数	785	893	294	1,972
	割合(%)	39.8	45.3	14.9	100.0
H24	検体数	921	2,372	2,287	5,580
	割合(%)	16.5	42.5	41.0	100.0
H25	検体数	280	2,147	5,214	7,641
	割合(%)	3.7	28.1	68.2	100.0
H26	検体数	75	1,387	7,260	8,722
	割合(%)	0.9	15.9	83.2	100.0
H27	検体数	4	650	4,586	5,240
	割合(%)	0.1	12.4	87.5	100.0
計	検体数	2,065	7,449	19,641	29,155
	割合(%)	7.1	25.5	67.4	100.0



※採取月日で集計
(水産事務所)

いわきの情報をお知らせします！

福島県いわき農林事務所

いわき市平字梅本15番地(福島県いわき合同庁舎3F)
TEL.0246-24-6197 FAX.0246-24-6196

mail kikaku.af07@pref.fukushima.lg.jp
http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/

🔍 いわき農林事務所

🔍 検索



いわき地方では、江戸時代に棚倉藩(現在の平赤井地区及び小川地区)藩主が梨の栽培を奨励したことが始まりとされています。

市内の主な栽培地は、平赤井や小川地区のほか、平窪、内郷、好間で行われており、県内ではいわき市の梨が最も早く出荷されます。



いわきの梨の旬は、8月下旬から11月までで、市内で栽培されている品種は、甘味が強い「幸水」や果汁の多い「豊水」、県オリジナル品種の「涼豊」などがあります。

小川町にあるJAいわき市梨選果場では、甘味や熟度等を選別する高性能の光センサーを設置し、一定の基準を満たした梨だけを「サンシャインいわき梨」として出荷しています。

これから旬を迎える梨は、スーパーや直売所、梨狩りができる観光農園で販売されています。ぜひ直売所巡りをして、果肉のシャリシャリとした食感と口に広がる爽やかな甘さを味わってみてはいかがでしょうか。

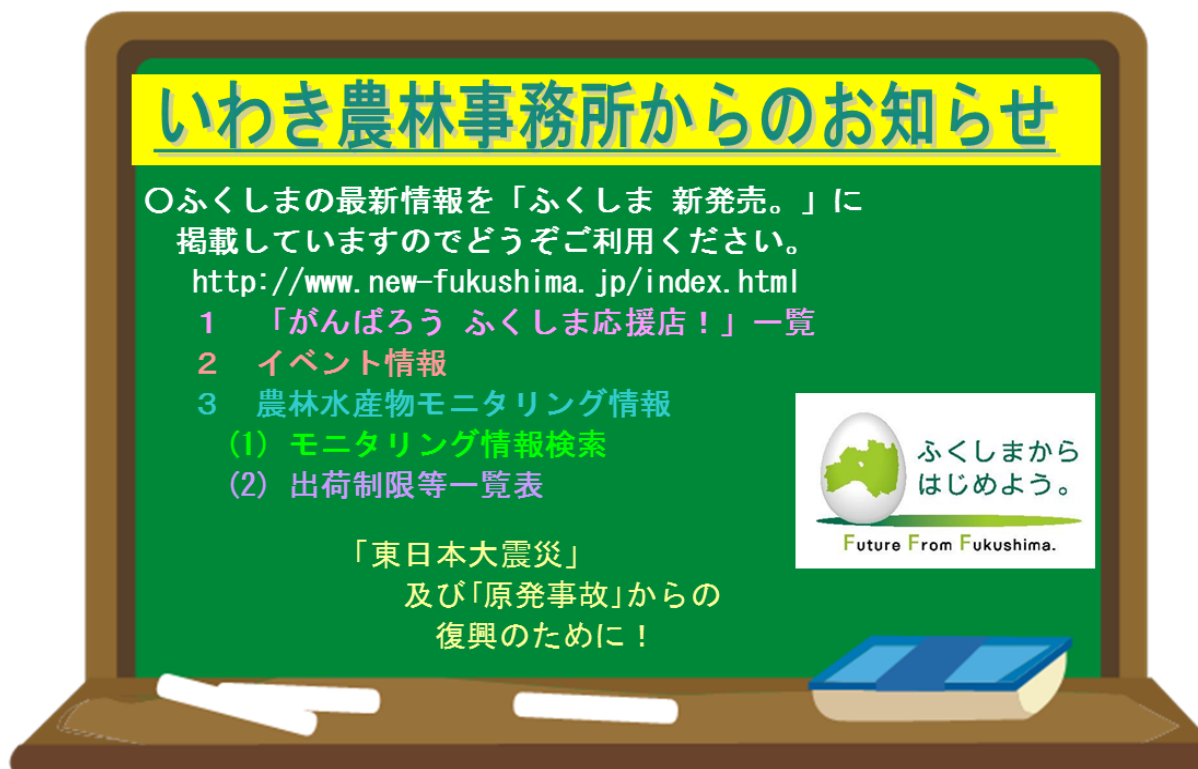
いわき農林事務所からのお知らせ

○ふくしまの最新情報を「ふくしま 新発売。」に掲載していますのでどうぞご利用ください。

<http://www.new-fukushima.jp/index.html>

- 1 「がんばろう ふくしま応援店！」一覧
- 2 イベント情報
- 3 農林水産物モニタリング情報
 - (1) モニタリング情報検索
 - (2) 出荷制限等一覧表

「東日本大震災」
及び「原発事故」からの
復興のために！



◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。
福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地
(県いわき合同庁舎 3階)
T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196
U R L <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>



いわき農林水産ニュース